

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020100		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	献血推進事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		地域医療の充実を図る			担当課長	清水 直子	担当者名	井上 勇治
取組み事項		地域医療体制を充実する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		安全な血液製剤の安全供給の確保に関する法律						
事業の目的	誰のために(具体的に)	病気や怪我の患者の治療のための血液を必要とする市民						
	誰(何)を対象として	健康な16歳から69歳までの市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	兵庫県の計画献血による献血の推進						

2 事業の概要 Do

実施の概要		年3回、姫路血液センターの献血車により、福祉会館前において、献血を実施。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	献血量	ml	60,800	59,200	56,600	60,000

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.044	100	
	臨時職員		0.040	-	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	674,462	784,246	116	816,064	104	805,296	99	
	事業費			-		-		-	
	合計	674,462	784,246	116	816,064	104	805,296	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	674,462	784,246	116	816,064	104	805,296	99	
合計	674,462	784,246	116	816,064	104	805,296	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		献血者数							
指標説明(式)		200ml・400ml献血者の計							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	140	140	100.0	150	107.1	150	100.0	
	実績	160	158	98.8	147	93.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

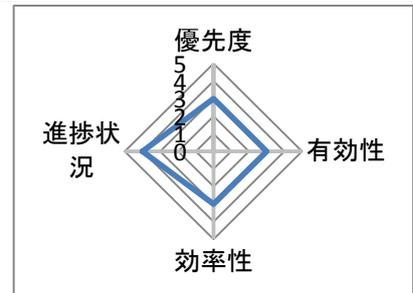
指標名1		目標献血量							
指標説明(式)		1回あたり献血量目標単位=95単位(1単位=200ml)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
単位	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	101	99	98.0	94	94.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	献血者の増加	3
効率性	手段の最適性	献血車1台あたりの献血量の確保	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	献血者数、献血量は、計画どおり確保できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	献血の啓発を継続して行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	全戸配布の市民カレンダーに献血のイメージキャラクターを掲載し、周知と啓発を図る。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020200		事業の種類	2			
年度	29	事務事業名	救急医療施設運営事業		予算事業名	救急医療施設運営事業 優先度		3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		地域医療の充実を図る			担当課長	清水 直子		担当者名	井上 勇治
取組み事項		地域医療体制を充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		救急医療対策事業実施要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	夜間及び診療時間外での急病者等							
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急医療施設運営により、緊急時の診療体制の確保。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		夜間及び休日の緊急時の診療体制を確保するため、在宅当番医制(一次)・病院群輪番制(二次)により運営。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	休日急患診療受診者	人	625	728	718	700
	病院群輪番制受診者	人	424	386	409	500
	小児科救急医療受診者	人	752	692	586	700

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.048	0.028	58	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員		0.040	-	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	704,390	663,686	94	692,576	104	678,160	98	
	事業費	18,805,470	18,805,470	100	18,955,470	101	19,103,000	101	
	合計	19,509,860	19,469,156	100	19,648,046	101	19,781,160	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	916,000	916,000	100	916,000	100	916,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,593,860	18,553,156	100	18,732,046	101	18,865,160	101	
合計	19,509,860	19,469,156	100	19,648,046	101	19,781,160	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ受診者数(人)							
指標説明(式)		夜間及び診療時間外時の急病等による受診者の増減							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,000	2,000	100.0	2,000	100.0	1,900	95.0	
	実績	1,801	1,806	100.3	1,713	94.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

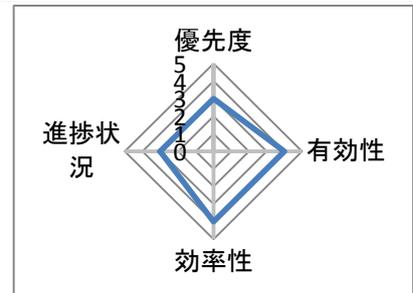
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	夜間及び休日における診療体制の確保により市民が安心して暮らせる。	4
	市民サービス	夜間及び休日における診療体制の確保により救急医療が受けられ、大事に至らず安心感が得られる。	
効率性	負担割合の適正化	相生市・赤穂市・上郡町の2市1町の人口に対する負担割合である。	4
	手段の最適性	医師会に運営委託	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	夜間及び診療時間外における急病患者は若干減少したものの、概ね予定した受診者数であった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小児救急において、夜間及び休日の受入れに空白日がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	中播磨医療圏域との連携を強化する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101030100		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	病院管理事務事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民病院市民病院			
施策名(中)	地域医療の充実を図る		担当課長	後藤卓		担当者名	後藤卓
取組み事項	安定した市民病院の運営を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公営企業法、医療法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	病院管理等を行うすべての関係職員					
	誰(何)を対象として	病院管理等を行うすべての関係職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院として健全経営を目指し、職員の定員管理をはじめ、医事管理業務並びに施設管理を適正かつ効率的・効果的に行い経営の透明性を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		適正な職員定数・医事管理を行い、事務処理等の透明性を確保する。また、施設管理等の諸経費の節減や見直しを図り、持続可能な維持管理に努める。(金額は税込)					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	職員の適正配置	人	35	37	37	40	
	保守委託の精査	千円	63581	63107	63225	66957	
	時間外勤務手当削減	千円	3255	3917	4040	5045	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
支出内訳	人件費	5,345,754	5,419,426	101	5,547,112	102	5,735,992	103	
	事業費			-		-		-	
	合計	5,345,754	5,419,426	101	5,547,112	102	5,735,992	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,345,754	5,419,426	101	5,547,112	102	5,735,992	103	
合計	5,345,754	5,419,426	101	5,547,112	102	5,735,992	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		病院事業費用経費							
指標説明(式)		医業費用のうち経費部分の経費(税込)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	187483	184232	98.3	169099	91.8	166951	98.7	
	実績	156352	163218	104.4	153372	94.0			
指標名2		職員数の適正化							
指標説明(式)		看護師の配置は、10:1体制で35床を届出基準としている。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	42	42	100.0	41	97.6	40	97.6	
	実績	35	37	105.7	35	94.6			

【効率性】

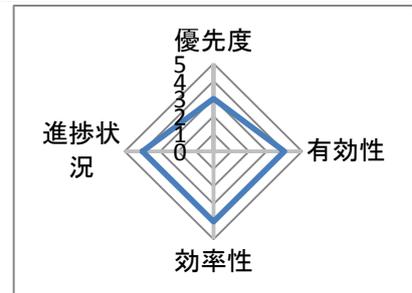
指標名1		職員給与費比率							
指標説明(式)		職員給与費÷医業収益×100(職員数等の適否を示す。)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	51.6	49.2	95.3	45.4	92.3	45.4	100.0	
	実績	49.9	50.7	101.6	52.3	103.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	職員のコスト意識を喚起するため、院内運営委員会において経営状況を共有するとともに、各科での課題を院内で議論し、経営改善に努めた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正な医事管理業務を行った。また、医療法等の関係法令を順守し、適切な諸手続きを行った。	
効率性	執行体制の効率性	臨時職員・パート職員の活用を図るとともに、院内の業務分担を見直し、看護師の業務負担軽減を図った。	4
	コストの節減	診療材料や委託業務等について、見積もり合わせによるコスト削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	おおむね計画通りに進捗しているが、看護師の充実など定数の見直しをさらに進めるとともに、経費削減についても更に見直す必要がある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化による修繕経費の増



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設修繕については、現状把握を行い優先順位に沿って計画的に行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101030200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	病院運営事務事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民病院市民病院			
施策名(中)	地域医療の充実を図る		担当課長	後藤卓		担当者名	後藤卓
取組み事項	安定した市民病院の運営を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公営企業法、医療法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	誰(何)を対象として	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院としての健全経営を確保し、効率・継続的な病院運営により、地域住民に信頼される安全・安心で質の高い医療提供を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全・安心で良質な医療を提供するために、病院機能の充実強化、常勤医師の確保等医療提供体制の整備をはじめ、サービスアップの推進など積極的な改革を行い経営の健全化、安定した経営基盤の確立を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	経常収支比率	%	97.7	98.1	96.2	97.6
	医業収支比率	%	85.2	85.0	83.9	87.8
	病床の有効活用	%	83.3	79.2	72.2	80.0
	一般会計繰入金	千円	88701	87085	81444	64000

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	1.500	1.500	100	1.500	100	1.500	100	
支出内訳	人件費	7,864,754	8,026,426	102	8,181,112	102	8,577,992	105	
	事業費			-		-		-	
合計		7,864,754	8,026,426	102	8,181,112	102	8,577,992	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,864,754	8,026,426	102	8,181,112	102	8,577,992	105	
合計		7,864,754	8,026,426	102	8,181,112	102	8,577,992	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経常収支比率							
指標説明(式)		経常収益÷経常費用×100(税抜き)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	97.4	97.4	97.4	100.0	97.6	100.2	
	実績	97.7	98.1	100.4	96.2	98.1			
指標名2		医業収支比率							
指標説明(式)		医業収益÷医業費用×100(税抜き)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	92.7	84.5	91.2	87.5	103.6	87.8	100.3	
	実績	85.2	85.0	99.8	83.9	98.7			

【効率性】

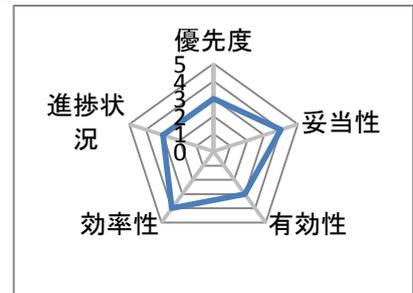
指標名1		稼働病床利用率							
指標説明(式)		入院患者数÷(35床×365日)×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	91.4	78.9	86.3	79.7	101.0	80.0	100.4	
	実績	83.3	79.2	95.1	72.2	91.2			
指標名2		1日平均外来患者数							
指標説明(式)		外来患者延数÷外来診療日数 ※平成28年度は293日/年							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	63	50.0	79.4	50.0	100.0	50	100.0	
	実績	49.0	50.6	103.3	49.9	98.6			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各評価指標について、目標が達成できなかった。	3
	市民サービス	自治体病院は、安全・安心な医療提供を一層求められる。ヒヤリハット等の検証・防止を確実にいき、医療の安全確保に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	看護配置を適正に行い、他科との業務分担についても常に改善した。	4
	手段の最適性	業務の見直しを行うとともに、業務委託についても精査した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	入院・外来患者が減少した。 評価指標は目標に達していない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入院患者が前年度と比較して8.8%減少した。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	他病院、介護機関等との連携を強化し患者獲得に努める。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010100		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	保健対策推進事業		予算事業名	保健対策推進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名	井上 勇治	
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地域保健法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民の健康づくり及び歯科保健の推進						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の健康づくりや歯科保健に対する総合的な把握と基本的な施策を協議し、健康づくり事業の調整及び推進方策等を決定する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		「健康づくり推進協議会」及び「歯科保健推進協議会」を開催				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	健康づくり推進協議会	開催回数	1	1	1	1
	歯科保健推進協議会	開催回数	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.112	0.140	125	0.172	123	0.220	128	
	臨時職員		0.036	-	0.046	128	0.020	43	
支出内訳	人件費	1,183,238	1,497,178	127	1,819,772	122	2,146,952	118	
	事業費	465,000	420,000	90	425,000	101	445,000	105	
	合計	1,648,238	1,917,178	116	2,244,772	117	2,591,952	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,648,238	1,917,178	116	2,244,772	117	2,591,952	115	
合計	1,648,238	1,917,178	116	2,244,772	117	2,591,952	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		推進協議会協議項目数							
指標説明(式)		協議項目の内容							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

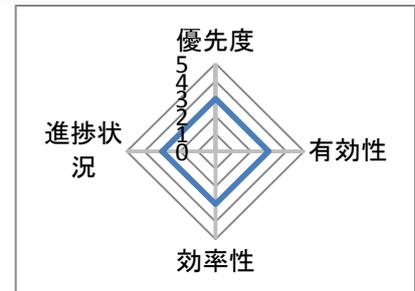
指標名1		推進協議会等開催回数							
指標説明(式)		市民の健康に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各協議会により審議された事柄を施策に反映。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	市民の健康増進に寄与できている。	
効率性	手段の最適性	協議会内容充実のため、協議項目を見直しながら協議した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	「健康づくり推進協議会」及び「歯科保健推進協議会」をそれぞれ開催し、健康づくり及び歯科保健に関する実施事業の協議を行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	健康増進計画の進行管理。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	健康増進計画の進行状況を把握し、評価・改善を行っていく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010200		事業の種類	4				
年度	29	事務事業名	健康福祉フェア		予算事業名	健康福祉フェア		優先度	-	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課				
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子		担当者名	井上 勇治	
取組み事項		健康づくり意識を醸成する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康と福祉に対する意識の高揚を図り、健康づくりと福祉の実践の輪を広げ市民の明るく健康的な暮らしに寄与する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		年1回、健康福祉に関わる団体、関連機関等の協賛によるイベント。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	健康・福祉フェア	参加人数	1336	1407	1451	1300

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.100	0.088	88	0.080	91	0.104	130	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,093,454	1,011,506	93	988,552	98	1,168,376	118	
	事業費	295,792	278,901	94	279,965	100	280,000	100	
	合計	1,389,246	1,290,407	93	1,268,517	98	1,448,376	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,389,246	1,290,407	93	1,268,517	98	1,448,376	114	
合計	1,389,246	1,290,407	93	1,268,517	98	1,448,376	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		健康・福祉フェア							
指標説明(式)		参加人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1300	1300	100.0	1300	100.0	1300	100.0	
	実績	1336	1407	105.3	1451	103.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

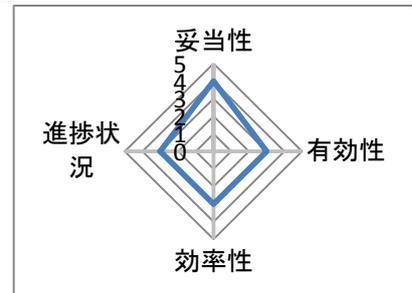
指標名1		参加者一人あたり費用							
指標説明(式)		事業費÷参加人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1069	846	79.1	1022	120.8	1114	109.0	
	実績	1039	917	88.3	874	95.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	健康チェック等を通じて、市民の健康に対する意識の高揚が図れた。	3
	市民サービス	「あいあいのつどい」と同時開催することにより、幅広い層の市民が参加し、個々のコーナーで好評であった。	
効率性	コストの節減	実施内容を限定したので、若干の経費の縮減につながった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	例年、12月の障害の日にあわせ、「あいあいのつどい」と同時開催している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	一人に1,000円前後の経費をかけてするイベントであるかを検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	経費を抑制するためにも、規模の縮小やスケジュールの短縮等、イベントそのものを見直す必要がある。

配点	32.5
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010300	事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	健康づくり推進事業	予算事業名	健康づくり推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		担当者名	高橋 幸恵	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		地域保健法、健康増進法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する主に39歳以下の市民				
	誰(何)を対象として	市内に居住する主に39歳以下の市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)胃がんリスク節目検診(30歳)				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	基本健康診査	人	99	88	90	100
	がん検診	人	141	125	124	170
	胃がんリスク検診	人	37	32	33	50

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.296	0.212	72	0.176	83	0.258	147	
	臨時職員		0.020	-		0		-	
支出内訳	人件費	2,559,926	1,997,986	78	1,729,480	87	2,392,060	138	
	事業費	4,802,172	3,334,502	69	2,739,344	82	3,815,000	139	
	合計	7,362,098	5,332,488	72	4,468,824	84	6,207,060	139	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,099,900	910,100	83	611,400	67	709,000	116	
	一般財源	6,262,198	4,422,388	71	3,857,424	87	5,498,060	143	
合計	7,362,098	5,332,488	72	4,468,824	84	6,207,060	139		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		がん検診受診者数							
指標説明(式)		39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	200	100.0	200	100.0	170	85.0	
	実績	141	125	88.7	124	99.2			
指標名2		胃がんリスク検診(ABC検診)節目受診者数							
指標説明(式)		受診者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	37	32	86.5	33	103.1			

【効率性】

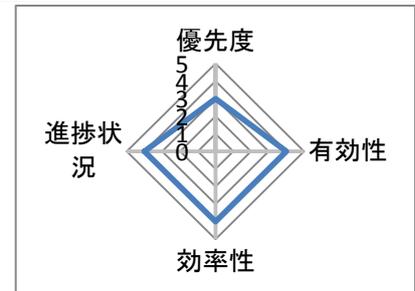
指標名1		健診回数							
指標説明(式)		集団健診の延べ回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受診人数としては大きな変化はないが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている。	4
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている。	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、健診回数や受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。	4
	手段の最適性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、健診回数や受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	若年者が受診しやすい健診体制として個別と集団の場を設けている。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010400	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	後期高齢者健康増進事業	予算事業名	後期高齢者健康増進事業 優先度
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名
取組み事項	健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民			
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	基本健康診査	人	895	947	928	1000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.268	0.140	52	0.160	114	0.232	145	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,350,430	1,403,326	60	1,605,992	114	2,185,464	136	
	事業費	4,570,214	4,520,503	99	4,707,014	104	5,065,000	108	
	合計	6,920,644	5,923,829	86	6,313,006	107	7,250,464	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,180,523	4,699,280	112	4,614,133	98	4,478,000	97	
	一般財源	2,740,121	1,224,549	45	1,698,873	139	2,772,464	163	
合計	6,920,644	5,923,829	86	6,313,006	107	7,250,464	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	850	950	111.8	1000	105.3	1000	100.0	
	実績	895	947	105.8	928	98.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

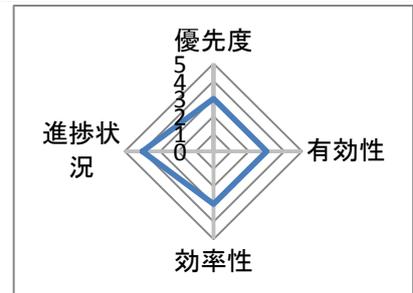
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	がん検診などとセット検診による魅力ある健診メニューの充実と受診時間の予約制による待ち時間の解消により受診者数が増加した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	延べ13日間にわたり、公民館、小学校体育館など身近な場所で受診できる集団健診の実施により、受診機会を確保することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画受診者数同等の受診者数があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	身近な場所での健診会場を設定しているが、会場によっては1階から2階への移動を要している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	主たる健診会場の総合福祉会館からなぎさホールに会場変更したことにより、ワンフロアで健診を受けることができた。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010500	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	いきいき百歳体操事業	予算事業名	いきいき百歳体操事業 優先度 4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		担当者名	石野 絵梨佳
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民(65歳以下の方も一部含む)			
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民(65歳以下の方も一部含む)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	住み慣れた地域で住民主体の活動としていきいき百歳体操を実施することで、心身機能の維持向上を目指し、また住民主体の活動を通して地域づくりにもつながる取組みとする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		いきいき百歳体操を普及啓発し、住民主体の活動としての取組みを促す。またグループが自主活動を効果的に継続できるよう支援する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	体験講座受講者数	人	220	147	95	65
	スタートアップ講座開催回数	回	137	104	41	35
	グループ数(年度末時点)	グループ	27	38	42	47
	登録者数(年度末時点)	人	558	744	842	900

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計				事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.372	0.410	110	0.416	101	0.440	106	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.090	225	0.024	27	
支出内訳	人件費	3,229,318	3,542,056	110	3,818,860	108	3,906,440	102	
	事業費	778,863	582,437	75	412,953	71	636,000	154	
	合計	4,008,181	4,121,733	103	4,231,813	103	4,542,440	107	
財源内訳	国庫支出金	1,002,045	1,030,433	103	1,057,953	103	1,135,610	107	
	県支出金	501,023	515,217	103	528,977	103	567,805	107	
	市債			-		-		-	
	その他	2,004,090	2,060,866	103	2,115,907	103	2,271,220	107	
	一般財源	501,023	515,217	103	528,976	103	567,805	107	
	合計	4,008,181	4,121,733	103	4,231,813	103	4,542,440	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		登録グループ数							
指標説明(式)		登録グループ数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
グループ	目標	15	40	266.7	45	112.5	47	104.4	
	実績	27	38	140.7	42	110.5			
指標名2		登録者数							
指標説明(式)		登録者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	700	233.3	800	114.3	900	112.5	
	実績	558	744	133.3	842	113.2			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

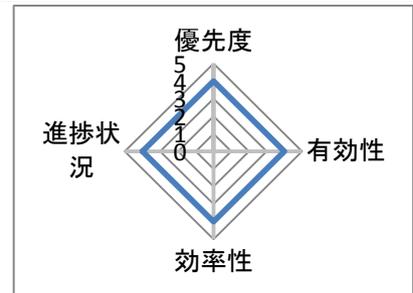
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標達成とはならなかったが、グループ数が順調に増えている。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	若い世代も含め、高齢者を中心として、心身機能の維持向上のための、身近な場所での介護予防活動につながっている。	
効率性	手段の最適性	開催場所が身近なところであり、地域住民同士で声かけあって参加者は参加しやすい。	4
	執行体制の効率性	グループ数も順調に増加し、市内各所で体操が浸透し始めており、介入しやすくなってきている。地域包括支援センターをはじめ関係機関との情報交換も積極的に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業開始から4年目を迎え、市内各所で体操が浸透し始めているため、住民主体の活動としての取り組みの方法について再度検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	グループで体操指導や体力測定を実施できる人材を育成し、住民主体の活動を促し、住民主体で体操の継続を展開していけるよう市民養成講座を実施する

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010600	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	健康ポイント制度事業	予算事業名	健康ポイント制度事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	20歳以上の市民			
	誰(何)を対象として	20歳以上の市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を促す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ポイントカードを配布し、健診受診や日々の運動等を実践したポイント達成者に記念品を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	ポイント達成者数	人	62	101	139	200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.228	0.200	88	0.200	100	0.214	107	
	臨時職員		0.100	-	0.120	120	0.080	67	
支出内訳	人件費	2,051,150	2,116,126	103	2,230,792	105	2,269,796	102	
	事業費	478,858	279,976	58	251,570	90	318,000	126	
	合計	2,530,008	2,396,102	95	2,482,362	104	2,587,796	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,530,008	2,396,102	95	2,482,362	104	2,587,796	104	
合計	2,530,008	2,396,102	95	2,482,362	104	2,587,796	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポイント達成者数							
指標説明(式)		ポイント達成者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	300	100.0	200	66.7	
	実績	62	101	162.9	139	137.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

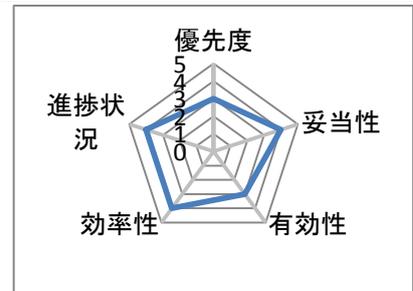
指標名1		1人当たりの事業費							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷達成者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	8,433	8,433	100.0	8,248	97.8	12,939	156.9	
	実績	40,807	23,724	58.1	17,859	75.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ポイント達成者に記念品を贈呈することにより、さらなる意欲の向上を図った。	3
効率性	コストの節減	参加者自らが運動等に取り組むため、事業費が抑制されており、取組み人員の増加により29年度の1人当たりの事業費コストを節減することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民への周知啓発に努めた結果、達成者数の増加が見込めた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	29年度達成者が増加しており、これからも目標数に達することができるよう取組み人員を確保していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	ポイントカード見直しや各事業での普及啓発に努める。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020100		事業の種類	1			
年度	29	事務事業名	健康増進事業		予算事業名	健康増進事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子	担当者名	高橋 幸恵	
取組み事項		病気などの早期発見と早期治療を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		健康増進法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	40歳以上の市民(子宮がん検診は20歳以上)							
	誰(何)を対象として	40歳以上の市民(子宮がん検診は20歳以上)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康意識の向上、健康寿命の延伸及び介護予防							

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康診査(がん検診、歯周疾患健診、骨粗鬆症検診)、健康教育(集団健康教育)、健康相談(重点健康相談、総合健康相談)					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	健康診査	人	9136	9096	8899	9500	
	健康相談	人	1590	1434	1673	1700	
	集団健康教育	人	418	375	169	200	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.000	0.734	73	0.662	90	0.820	124	
	臨時職員	0.044	0.076	173	0.072	95	0.020	28	
支出内訳	人件費	7,938,090	6,077,248	77	5,670,076	93	6,914,552	122	
	事業費	27,615,142	23,513,244	85	24,794,712	105	36,221,000	146	
	合計	35,553,232	29,590,492	83	30,464,788	103	43,135,552	142	
財源内訳	国庫支出金	482,000	344,000	71	158,000	46	165,000	104	
	県支出金	2,090,000	1,902,000	91	1,841,000	97	2,809,000	153	
	市債			-		-		-	
	その他	4,599,600	4,013,900	87	4,725,700	118	5,737,000	121	
	一般財源	28,381,632	23,330,592	82	23,740,088	102	34,424,552	145	
合計	35,553,232	29,590,492	83	30,464,788	103	43,135,552	142		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		子宮がん検診							
指標説明(式)		受診率							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0		0.0	
	実績	14	14	100.0		0.0			
指標名2		子宮がん検診受診者数(集団)							
指標説明(式)		生活習慣病健康診査同時子宮がん検診受診者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	60	-	120	200.0	
	実績	0	0	-	78	-			

【効率性】

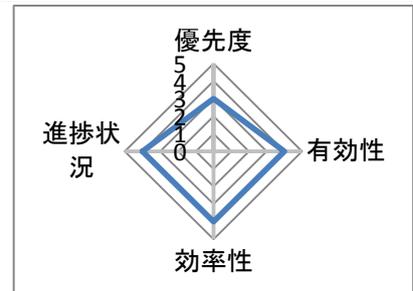
指標名1		子宮がん検診受診者数(個別)							
指標説明(式)		医療機関における子宮がん検診受診者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
数	目標	700	700	100.0	600	85.7	550	91.7	
	実績	662	541	81.7	478	88.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	34	30	88.2	31	103.3	31	100.0	
	実績	30	30	100.0	31	103.3			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	健康増進法等に合致する内容で、柔軟に対応ができています。	4
	市民サービス	生活習慣病健康診査と同時実施できる日を新たに設け、市民サービスにつなげた。	
効率性	手段の最適性	子宮がん検診については、姫路市、赤穂郡、たつの市・太子町医師会と引き続き事業実施委託契約を締結し、受診医療機関の充実を図ることができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	受診医療機関が増設され、さらに受診しやすい環境が整いつつある。がん対策推進員の協力のもと地域に密着したPR活動が行われている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	子宮がん検診については、市内で実施できる医療機関が一医療機関しかなく、身近で受けれる機会が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	生活習慣病健康診査実施日に同時に子宮がん検診を受けれる体制を一日から二日実施にし受診率の向上を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030100		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	予防接種事業		予算事業名	予防接種事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名	谷 藍加
取組み事項		感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		肺炎球菌ワクチン接種助成事業					
根拠法規及び関連法規		予防接種法・結核予防法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民全体(免疫水準の維持)					
	誰(何)を対象として	接種対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	予防接種を受け、健康を維持することができる。市民全体の免疫水準を維持することができる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		定期予防接種A類(風しん・麻しん・日本脳炎・4種混合・3種混合・2種混合・不活化ポリオ、BCG、小児肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん予防、水痘)、定期予防接種B類(インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌)を実施する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	定期予防接種一類	%	61.9	68.2	64.6	100
	定期予防接種一類	%	71.2	74.6	69.5	100
	定期予防接種二類	%	42.8	44.7	45.7	60

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.488	0.580	119	0.240	41	0.444	185	
	臨時職員	0.080	0.080	100	0.420	525	0.232	55	
支出内訳	人件費	4,197,990	4,927,286	117	3,329,712	68	4,529,360	136	
	事業費	56,137,992	61,798,971	110	62,839,888	102	72,254,000	115	
	合計	60,335,982	66,726,257	111	66,169,600	99	76,783,360	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	60,335,982	66,726,257	111	66,169,600	99	76,783,360	116	
合計	60,335,982	66,726,257	111	66,169,600	99	76,783,360	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		予防接種接種率(日脳あり)							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数)×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	61.9	68.2	110.2	64.6	94.7			
指標名2		予防接種接種率(日脳なし)							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数)×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	71.2	74.6	104.8	69.5	93.2			

【効率性】

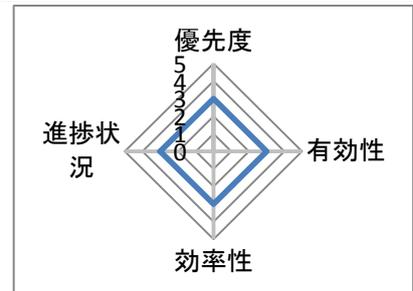
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	改正に合わせて、迅速な対応ができ、予防接種法等に合致する内容で実施できている。	3
	成果目標(改善)達成度	前年度に比べ、全体的に接種率は減少している。	
効率性	執行体制の効率性	全て個別接種で通年実施となっており、接種しやすい環境が整っている。また、引き続き個別用タックシール使用により、接種回数の見落としや誤りを防ぐことができている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	前年度に比べ、接種率は減少している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	未接種者に対して十分な周知ができていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	定期健診時に接種状況を把握し、未接種者に対して保護者への周知を徹底する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030200		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	感染症予防事業		予算事業名	感染症予防事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名 井上 勇治	
取組み事項		感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	感染症発生の疑いのある者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	感染症発生及びそのまん延の防止を図り、公衆衛生の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		感染症予防に関する広報、ポスター等の掲示による啓発を実施した。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	消毒剤の購入量	袋	0	0	0	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.072	0.060	83	0.040	67	0.044	110	
	臨時職員		0.020	-	0.032	160	0.020	63	
支出内訳	人件費	883,958	852,666	96	764,120	90	748,456	98	
	事業費	0	0	-	2,268	-	88,000	3,880	
	合計	883,958	852,666	96	766,388	90	836,456	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	883,958	852,666	96	766,388	90	836,456	109	
合計	883,958	852,666	96	766,388	90	836,456	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

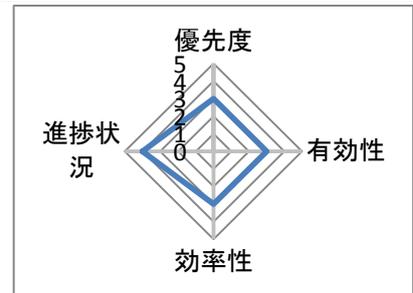
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	感染症の発生及びまん延を防止し、市民の健康を守る。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	感染症の発生及びまん延を防止する。	
効率性	コストの節減	感染症が発生しない限りコストも生じない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	本事業の目的は、感染症の発生及びまん延の防止することであるが、平成29年度では発生していない。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	情報収集及び市民への啓発活動の推進。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	情報収集及び市民への啓発活動の推進。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030300	事業の種類	5
年度	29	事務事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業	予算事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	森川拓平
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市公衆浴場整備改善資金利子補給補助金公布要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	公衆浴場経営者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	公衆衛生の維持のために、市内唯一の公衆浴場の安定経営の維持			

2 事業の概要 Do

実施の概要		公衆浴場の数				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	施設数	件	1	1	0	0
	※都湯:相生地区					

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.020	125	0.012	60
	臨時職員			-	0.004	-		0
支出内訳	人件費	464,966	468,986	101	536,008	114	437,344	82
	事業費	849	164	19	0	0	1,000	-
	合計	465,815	469,150	101	536,008	114	438,344	82
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	465,815	469,150	101	536,008	114	438,344	82
合計	465,815	469,150	101	536,008	114	438,344	82	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給対象借入件数							
指標説明(式)		H22年度まで 年間利子相当額の1/2つつを県市補助負担 H23年度から 利率1%超4%以内の利子額に対し県市1/2つつ補助							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	1	50.0	0	0.0	
	実績	2	2	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

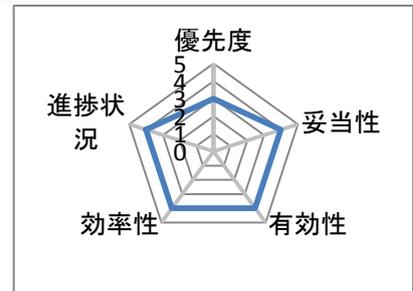
指標名1		県補助金							
指標説明(式)		利子補助額×1/2							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績	0	0	-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆浴場がある相生地区においては、高齢者世帯を中心に風呂がない自家や古い家屋が多くあり、今日、利用者は減少傾向にあるが、需要がある限り、公衆衛生面から考えれば、公衆浴場存続の必要があり、事業として有効である。	4
効率性	手段の最適性	本制度は、利用者も少なく、投資効果がない中での公衆浴場の改修を促すものであり、利用者の利便向上及び、事業者の経営安定のため、設備資金の借入に対する利子補給事業は最適な手段である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	事業としては利用者が無いが、公衆浴場は現存しており、市民が高齢化し、風呂の無い家もあり、公衆衛生の観点から継続する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	公衆浴場利用者数の状況や、公衆浴場の存続等、状況を見ながら今後の対応を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030400		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	衛生害虫駆除事業		予算事業名	衛生害虫駆除事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平	
取組み事項		感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	地域						
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常及び水害時等において、不快害虫を駆除・防除し、快適な生活環境を維持する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区清掃等に係る自治会への害虫駆除薬剤配布 (SV乳剤→水性サフロチン)					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	薬剤配布(自治会数)	件	10	10	10	20	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.024	0.020	83	0.008	40	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	524,822	499,126	95	432,856	87	405,560	94	
	事業費	75,600	0	0	75,600	-	14,000	19	
	合計	600,422	499,126	83	508,456	102	419,560	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	600,422	499,126	83	508,456	102	419,560	83	
合計	600,422	499,126	83	508,456	102	419,560	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		薬剤配布							
指標説明(式)		各自治会への配布本数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
本	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

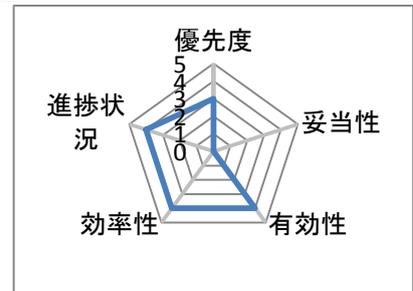
指標名1		薬剤購入							
指標説明(式)		薬剤購入費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100,000	100,000	100.0	99,000	99.0	14000	14.1	
	実績	75,600	0	0.0	75600	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆衛生確保の観点から市民サービスの貢献に努めた。	4
効率性	執行体制の効率性	市は薬剤費の支出を受け持つが、薬剤散布にあたっては、地元自治会が自主的に実施するため、役務面でのコスト削減につながっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	地域で、定期的に美化活動をするよう推奨することにより、薬剤散布の量が減り、コスト削減につながっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	引き続き、継続して環境意識を向上させることで、コスト削減につなげてきたい。

配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102040100		事業の種類	1				
年度	29	事務事業名	食育推進事業		予算事業名	食育推進事業		優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課				
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子		担当者名	三木 由紀	
取組み事項		食育を推進する			実施計画への記載	主要事業の指定				
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		食育基本法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる								

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市食育推進計画を策定し、それにそって、地域、関係団体、保育所、幼稚園、学校、生産者、行政などが連携して食育活動を進める。								
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画				
	食育推進協議会	開催回数	1	1	1					

3 投入資源

会計区分		一般会計						事業費単位:円	
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.240	0.204	85	0.248	122	0.264	106	
	臨時職員		0.020	-		0		-	
支出内訳	人件費	2,140,934	1,937,706	91	2,285,176	118	2,439,736	107	
	事業費	93,370	57,253	61	52,028	91	200,000	384	
	合計	2,234,304	1,994,959	89	2,337,204	117	2,639,736	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,234,304	1,994,959	89	2,337,204	117	2,639,736	113	
合計	2,234,304	1,994,959	89	2,337,204	117	2,639,736	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市食育推進計画の具体的な取組の進捗状況								
指標説明(式)		取組を行っている数÷取組むべき具体的な取組数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
%	目標	100	95	95.0	95	100.0	100	105.3		
	実績	88	90	102.3	95	105.6				
指標名2		相生市食育推進計画の指標と目標値								
指標説明(式)		達成状況(目標達成数+目標に近づいているが未達成)÷指標数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
%	目標			-		-	70	-		
	実績			-		-				

【効率性】

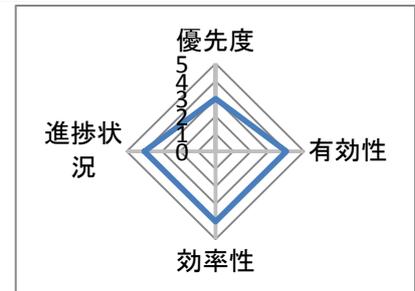
指標名1		相生市食育推進協議会開催回数							
指標説明(式)		市民の食育に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	1	100.0	1	100.0	3	300.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市食育推進計画(第2次)にそって、取り組みが不十分な部分を重点におき、各担当及び関係者と連携をしながら推進している。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	相生市食育推進計画(第2次)は、国の第3次食育推進基本計画、兵庫県の食育推進計画(第3次)に整合性を図りつつ食育を総合的に推進している。	
効率性	手段の最適性	既存の事業に食育を盛り込み実施すると共に、新事業、他部署、他団体と連携をした事業も行っている。また、2次計画の重点取組である、若い世代と男性への食育活動にも取り組んでいる。	4
	執行体制の効率性	食育推進協議会、庁内連絡調整会議、作業部会と食育の推進体制に沿って食育を推進することで、漏れなく活動を行うなど、効果的な体制、方法で事業を推進している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	2次計画の重点取組である、若い世代と男性への食育活動



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	アンケートを実施後、2次計画の評価、見直しをし、3次計画に反映をさせる。

配点	25
総合評価	18